

【松村主宰の俳句】

宛所不明

松村五月

薔薇を折る雨の匂いのそのままに
泣きながら生まれたような春の虹
新緑をふるわせており赤子泣く
少年の角曲がるとき新緑す
宛所不明とありぬ花の昼
ハンカチに包むきれいなさようなら
薰風や家出のごとく荒川線
蝶とまる父の書棚の三段目
正面にあの日の父や花の雨
花に雨父いつまでもいつまでも